

ラインアウトで存在感を示す、小野雄貴選手(背番号7)と藤原壮平選手(同8)



「全然違う」 OBが快哉

中大ラグビー部 リーグ戦2位

あと1勝で41年ぶり優勝だった

中央大学ラグビー部が今季、突進、突進、大躍進だ。関東大学リーグ戦で11月16日、強豪・流通経済大と全勝(5勝)対決、勝ったほうが優勝という大一番を迎えた。昨季6位チームの変貌をOBで名SOの宇野将史さんに解説してもらった。



宇野さんは、開幕の大東文化大戦から、決戦の流経大戦まで全6試合をグラウンドサイドで見ている。攻守の要のポジション(SO)として中大をけん引してきた。普段は優しいが、ラグビーとなるとがぜん厳しくなる。“お褒めの言葉”のない人だ。

「今シーズンはみんなが同じ方向を向いています。部員はもちろん、リザーブ、スタッフ、マネジャー、応援する人たち。中大ラグビーに関わる人すべてが、今までと違います。春はFWがごっそり抜けて、若いFWになった。シーズンは厳しいかなと思っていました」

昨季までの中大は、シーズン6位か7位で終わり、最近10年間の最高位は2010年の4位だ。今春の大会でも早稲田大に56-5で敗れ、苦難のシーズンを予感させた。

中大に負けるのは予想外!?

「開幕の大東大も前評判が高くて。ここに勝って、次の東海大にも

勝った。OBたちは“オッ、オウー”といった感じでビックリし、うれしかった。前年優勝校に勝つとなると大いに意気が上がります。僕らのときは東海大がダントツ。4年間、勝てなかった。試合後、東海大選手でいまは社会人でプレーする友人が、悔しそうに言っていました。“中大に負けるのは予想外だよ”って」

「グラウンドでは、ディフェンスが目立ちます。安心して見ていられる。相手に凄く攻められても、安定したディフェンスだから」

宇野さんが楽しそうに話す。開幕から大東文化大、東海大、立正大、法政大、拓殖大を撃破。失点の少ないのが強みである。

キーマン山北主将

「キャプテンの山北君がいい。ラグビーにまじめで、チームをしっかりまとめている。みんなとちゃんと向き合っている。部員のところの中に山北主将がいる」

ボールを持って突進する山北純嗣主将



「全然違う」OBが快哉 中大ラグビー部 リーグ戦2位

山北純嗣主将は、強豪で知られる福岡・東福岡高出身。経済学部4年。ポジションはセンター。178cm、85kg。主将を中心にバックスは元気のいいプレーを見せている。

「キャプテンをやってみないかと話したことがあります。すごく難しそうにとらえていたから、こう言いました。そんな難しく考えないで。周りがちゃんとやってくれるから。彼らはよくまとまっていた、ラグビーにまじめに取り組む山北君なら、周りがついてきます」

ラグビーは「キャプテンシー」という言葉をよく使う。統率力を意味する。野球と違って、監督は試合中のグラウンド・レベルにいない。指揮官はスタンドで凝視している。主将は監督の目指すラグビーを理解し、苦境では監督の役目を担う。宇野さんも高校時代、主将の経験者である。山北選手がリーダーになる素質を見抜いていた。

「宇野さん、なんとかやれています、そう言ってきたことがあります。朝のランニングをずっと続けている。目的をしっかり理解しているからでしょうね。眠いのによく頑張りますよ」

「僕らのころの成績は1年目、ボコ

ボコにやられた。2年で4勝3敗、4勝して楽しかったです。3年は1勝4敗…。9月、10月と負けてばかり。やばいな、やばいよと追い込まれていました。僕らに比べるといまの選手は楽しいだろうなあ」

勝つ味を知るとチームは、ぐんと勢いを増すそうさ。

「選手を見ていると、オンとオフをはっきり分けている。メリハリがあっていいですね」

今後がますます楽しみだとして、宇野さんは1年生3人の名前を挙げた。

「3番、9番、10番です」

三宮累選手(フロップ、東京高、182cm、110kg、背番号3)

長谷川新波選手(スクラムハーフ、桐蔭学園高、172cm、67kg、背番号9)

浜岸峻輝選手(スタンドオフ、東京高、175cm、88kg、背番号10)

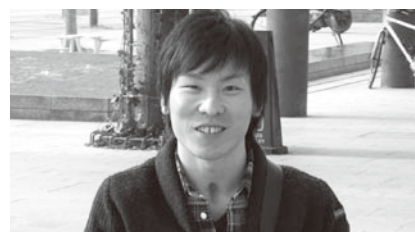
「羽野君にはリオデジャネイロ・オリンピックに出てほしい。期待の選手です」

FB(フルバック)の羽野一志選手(法学部4年、184cm、85kg、背番号15)は、7人制ラグビーの日本代表として、6月のワールドカップ(W杯)に

出場した。U20(20歳以下)の日本代表でもある。

学生ラグビー界では、異次元の突破力との評判だ。

3季ぶり14度目の大学選手権出場を飛び越えて、7人制が採用されるリオ五輪まで、中大勢の夢は広がる。



宇野将史氏

2009年に京都成章高から中大入学。1年生からSO、CTBとして活躍した。3年次、試合中の負傷で選手生活を断念。休学し、治療に専念した。現在は復学して、来春大手電機メーカーに就職する。23歳。

■関東大学リーグ戦 中大の今季成績

月・日	相手	スコア	場所
9・22	大東大	○13-12	熊谷
9・29	東海大	○23-14	キャン
10・6	立正大	○21-3	上柚木
10・19	法大	○19-15	熊谷
11・4	拓殖大	○50-17	上柚木
11・16	流経大	●17-50	江戸川
11・24	日大	●13-16	秩父宮

■中大 最近10年間の成績

年度	リーグ戦 勝分敗	順位	優勝	大学選手権
2004	1-6	7	法大	-
2005	1-6	7	関東学院	-
2006	2-5	6	関東学院	-
2007	2-1-4	6	東海大	1回戦敗退
2008	2-1-4	6	東海大	-
2009	2-5	6	東海大	-
2010	4-3	4	東海大	1回戦敗退
2011	1-6	7	流経大	-
2012	2-5	6	東海大	-
2013	5-2	2	流経大	-



宇野さんが高く評価する羽野一志選手